

連携提案： 熟議を活用した（法、主権者、消費者、NIE）教育による人づくり

キーワード：法教育、主権者教育、新聞活用教育(NIE)、消費者教育、熟議を活用した教育

人文・社会教育学系 准教授

中平 一義(Nakadaira Kazuyoshi)

連携提案内容と効果

◎社会科教育学の視点から、
以下の連携ができます。

- 法教育
(模擬裁判、ルールづくりなど)
- 主権者教育
(模擬投票、社会的課題解決など)
- 消費者教育
(エシカル消費、契約など)
- 新聞活用教育(NIE)
(まわし読み新聞など)

◎連携形式は、以下の通りです。

- 模擬授業(教員との協働も可)
- 教員向け講習会(講義、演習形式)
- 市民向け教育(内容は相談により決定可)

◎効果の一部として考えられること。

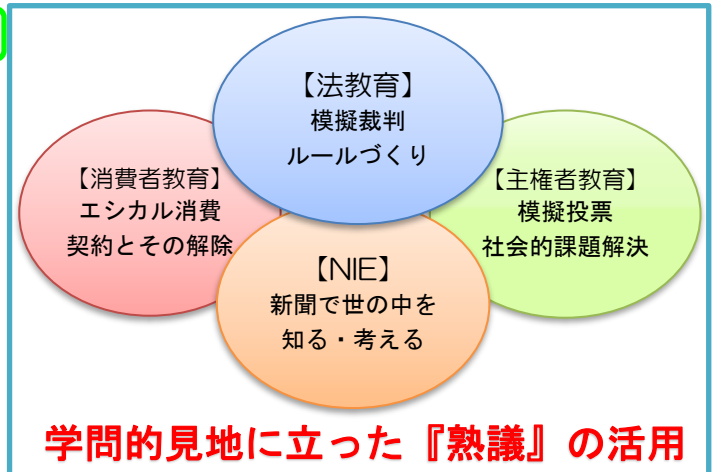
- 多様性の視点がひろがります。
- 社会に対する見方・考え方が深まります。

アピールポイント

法教育や主権者教育については、「模擬裁判」、「模擬投票」などを実施、NIEについては「まわし読み新聞」の作成を行っています。その他、教員向けの講演会や演習、一般向けの教育講演会、子どもたちに対する出前授業を毎年行っています。

連携したい分野

- ・熟議による(法、主権者、消費者、NIE)教育を行いたい学校
- ・熟議による(法、主権者、消費者、NIE)教育の教員養成講座を行いたい教育委員会等
- ・熟議による(法、主権者、消費者、NIE)教育を活用した市民教育を行いたい自治体や企業等



期待される効果

多様性に気がつき判断することができる
子どもの育成、
そのような教育ができる教員養成、
および市民への啓発

研究テーマ： 法教育研究—特に熟議を活用した主権者を育成するための価値教育研究

	プロフィール	専門分野	社会科教育学(公民)、法教育、主権者教育
	2015年から上越教育大学。それ以前は、神奈川県の中学校教諭として社会科や生徒指導主任、進路指導主任として勤務。日本社会科教育学会評議員(2020年～)、法と教育学会参事(2019年～)。上越市、妙高市、糸魚川市の各種第三者委員として行政の支援。	主な研究内容	①社会科教育における法教育研究 ②学校における新聞活用教育(NIE)研究 ③アメリカの熟議民主主義研究 ④これからを担う主権者を育成する研究
関連URL		https://shakaijuen.blogspot.com/	

関連する業績等

- 【主な著書】
 - ・『初等社会科教育研究』、風間書房、2019年
 - ・『社会科教科内容構成学の探求』、風間書房2018年など
- 【主な論文】
 - ・「法的な契約概念を理解させるために効果的な教育内容に関する研究—ワークルールに対する子どもの認識から」法と教育学会『法と教育』2019
- 【その他・講演等(2019年のもの)】
 - ・新潟日報社主催「AI時代を生き抜く子どもの育て方」パネリスト、長岡市教育センター研修講座公開講演会「主権者教育の理論と実践」講師、富山県高等学校教育研究会講演会「新科目「公共」とどう向き合うか」講師、など

お問い合わせは、 中平研究室 kazuyosi@juen.ac.jp